

## ファイルサーバーをそのまま使い、セカンダリストレージで容量拡張



CLOUDIAN HyperStore は、ソフトウェアデファインド (Software Defined) のオブジェクトストレージ製品です。汎用的な x86 サーバと Linux OS を使うことで、大量の非構造化データの格納に最適な経済性の高い分散ストレージを構築できます。汎用サーバ 2 台 (推奨 3 台) からスモールスタートし数ペタバイト超にまでスケールアウトします。複数データセンター間で同期・準同期を選択しファイル単位での複製をおこなうため、秒単位での DR (災害復旧)/BC (事業継続) 対策が可能になります。クラウドストレージの事実上の標準となる S3 API に完全準拠しており、数百種類の対応アプリケーション等を改修せず、そのまま活用いただけます。

### 解決すべき課題

- ファイルサーバーの容量がひっ迫している
- 約 8 割のファイルは 1 年以上アクセスがない
- 所有者の承諾なくアクセスのないファイルを削除し、容量確保できない
- 所有者は既に退職しているが、削除の判断できずにファイルは残っている
- ファイル削除すると後々問題にならないか自信がないので残している
- 既存ファイルサーバー環境はそのまま活用したい
- 今後のデータ増加量の予測は難しい
- 万が一のための冗長性維持、DR/BC 対策にはリソースが必要

### 解決の方向性

- 既存のファイルサーバーにセカンダリのストレージを追加する
- アクセス頻度の少ないファイルを自動的にセカンダリストレージに転送する
- 高価・高速のファイルサーバーと経済的なセカンダリストレージを使い分ける
- セカンダリストレージにより冗長化、DR/BC 対策を自動化する

### CLOUDIAN HyperStore による解決

- **CLOUDIAN HyperStore** をセカンダリストレージに導入し、既存のファイルサーバーが抱える課題を解決する
  - ソフトウェア・デファインド・ストレージ (SDS) と経済的な汎用サーバーをハードウェアに活用したセカンダリストレージを追加する
  - 容量制限を気にしないスケールアウト型ストレージを構築する
  - レプリケーション機能により、複数サーバーに自動的にデータを複製し冗長性を確保する
  - マルチデータセンター機能により、複数データセンターにデータを複製し、秒単位の復旧目標が可能な DR/BC 対策を行う
- **ZiDOMA data** を使い、既存のファイルサーバーからファイルをポリシーベースで、**CLOUDIAN HyperStore** に自動転送し、格納する
  - ファイルサーバー内のデータを分析
  - ファイル共有の CIFS、NFS、FC、iSCSI プロトコルを S3 API に変換
  - アクセス頻度、ファイルの種類、保管期間等のポリシーベースで、CLOUDIAN HyperStore にファイルを転送し格納する

### オブジェクトストレージの特長

#### 拡張性

フラットにデータを格納  
スケールアウトが容易

#### REST

オブジェクトに URL を付与  
安全にインターネット経由

#### メタデータ

オブジェクトに付与  
カスタマイズ可能

### CLOUDIAN HyperStore の特長

#### マルチデータセンター

同期・準同期選択  
秒単位での複製・復旧

#### S3 API

S3 対応アプリケーション活用  
S3 エコシステム活用

#### ハイブリッドクラウド

クラウドに自動階層化  
クラウドサービス連携

#### スモールスタート

ピア・トゥ・ピアによる分散処理  
汎用サーバ 2 台から利用可能

#### セルフポータル

セルフサービス  
統計・課金・利用量管理

#### ソフトウェアデファインド

x86 サーバー  
ソフトウェアとアプライアンス



クラウドファン  
ホームページにアクセス

